



## どのような症状がみられますか？

- 声がかすれる。犬の遠吠えやオットセイの泣き声みたいに咳き込む。
- 38.0℃以上の発熱がある。
- ゼーゼー、ヒューヒューいう。
- 息苦しそうである。
- 呼吸が速い。
- グッタリしている。
- 水分をとりたがらない。
- 唇や口の周りが紫色となる。  
(いわゆるチアノーゼ)

症状がみられたものを「はい」とした場合

「はい」が

1つ以上ある

ない

休日夜間急患センター  
等を受診しましょう。

様子をみながら  
診療時間になるのを待って  
かかりつけ医の先生に  
診てもらってください。

ただし、症状が大きく変わったら休日夜間急患  
センター等を受診しましょう。

## ご家庭で

- **まずは唇の色を観察！**  
泣いた際に、唇の色が明らかに暗赤色や紫色を示す場合には、熱の有無や原因に関わらず、休日夜間急患センター等を受診すべきでしょう。
- 部屋が乾燥しているときは、加湿しましょう。
- タンがきれいやすいように、のどに刺激の少ない水分を少しずつ何度も飲ませましょう。
- 気管支が弱い（あるいはぜんそく気味）と言われたことがありますか？  
お子さんご本人用に処方された手持ちの気管支拡張剤があれば、それを飲ませて（シールの場合は、1枚貼って）30分から1時間くらい様子を見てください。  
咳が軽くなったり、よく眠れるようになったりしたら、そのまま様子をみて大丈夫でしょう。ただし、翌日必ずかかりつけ医の先生を受診してください。
- 何か食べていたり、口にくわえて遊んでいたりしませんでしたか？  
数分前まで、何ともなかったのに（お茶にむせたかのように）急に咳が止まらなくなりましたか？咳が短時間で止まるようなら心配ありませんが、咳き込みが続くようならば受診した方が良いでしょう。  
特にピーナッツなどの豆類を食べていた場合は要注意です。
- だんだんと犬の遠吠えみたいな太い声になっていませんか？  
この場合、なるべく泣かせないようにすることが最も大事です。お子さんを抱っこして落ち着かせてあげましょう。
- 昼間に比べて、夜にひどくなることが多くみられます。  
昼間であれば夕方遅くならないうちに、早めに受診しておいた方がいいでしょう。  
夜でもあやしているうちに、すやすや寝てしまうようでしたら、翌朝まで待って受診しても大丈夫です。ただし、お子さんの声がかすれて聞こえなくなる程ひどければ、受診した方が無難でしょう。

